

音	絵札	読み札	ポイント	解説
さ		真之と 子規らが学んだ 松山中学	松山中学校・勝山学校跡	松山中学には真之や子規らが入学しました。夏目漱石が明治28年に英語を教えた学校で、名作『坊っちゃん』の舞台になった所といわれます。
し		書斎持つ 子規の家再現 子規堂だ	子規堂(正宗寺)	正宗寺境内に復元されている子規の生い立ちの家の一部です。小説の中で、中学3年の少年が書斎を持っているとは、とって真之が驚いた場面があります。
す		好きな菓子 真之好物 はじき豆	秋山真之のエピソード	真之の好物は、はじき豆(炒り豆)で、考え事をしている時には決まってポリポリとかじっていたといえます。真之がアメリカに留学している間も、母の貞は絶えずはじき豆を送っていたそうです。
せ		生活が 苦しくても寺にはやるな 真之を	秋山好古のエピソード	秋山家は代々、松山藩の武士でしたが、徒士侍という身分であったため、収入は多くありませんでした。弟の真之が生まれた際に生活苦から寺へ出そうかと話が出たときは、自分が「お豆腐ほど」のお金を稼ぐから寺にはやらないでくれと懇願しました。
そ		漱石と 子規が暮らした 愚陀佛庵	愚陀佛庵	明治28年、夏目漱石が英語教師として赴任した時に下宿していた場所で、正岡子規が療養のために居候しました。1階に正岡子規、2階に夏目漱石が住み、52日間共に過ごしました。